

眼科手術支援ロボットの国内独占販売契約締結のお知らせ

ニプロ株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長:佐野 嘉彦、以下「当社」)は、現在開発中である、術者に第三の手を与える「眼科手術支援ロボット」の日本国内における独占販売契約を、リバーフィールド株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:只野耕太郎、以下「リバーフィールド社」)と締結しましたことを、お知らせいたします。

リバーフィールド社は国産手術支援ロボット開発を目指して2014年に設立された東京工業大学と東京医科歯科大学発スタートアップ企業で、2015年には内視鏡把持ロボット「EMARO®」を上市し、現在はその他複数の手術支援ロボットを開発しています。

眼科手術支援ロボット開発は、2017年にAMED(日本医療研究開発機構)の「未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業」に採択され、九州大学大学院医学研究院眼科学 園田 康平 教授、東京工業大学未来産業技術研究所、リバーフィールド社の3者共同で開発・上市化を進めてきたものです。

このたびの契約の対象となる製品は、眼球内を直接観察できる眼内内視鏡や眼内照明ライトガイドを把持するためのロボットシステム(右図参照/以下「当ロボット」)で、上記事業の一環として開発されるものです。これを用いることにより術者は両手で手術鉗子を保持した手技が行えます。

なお、当社子会社である株式会社町田製作所では当ロボットで使用することを目的とした眼内内視鏡などの開発・設計も行っております。



▲イメージ図

※EMARO®は、リバーフィールド社の登録商標です。

ニプロは今後とも、患者さまの QOL (Quality of life) の向上はもちろんのこと、より安全で、医療ニーズに応えられる製品の開発、提供に努めてまいります。

お問い合わせ先

報道機関の皆さま : 広報担当

TEL 06-6375-6700

その他の皆さま : SD事業部

TEL 06-7177-0716

※受付時間: 9時~17時45分(土・日・祝日・当社休業日を除く)